



企業と生物多様性セミナー

- 第1回 企業が生物多様性に取組むメリット -

- 日時：2009年**12月1日**（火） 14:00～15:30
- 場所：**千葉県教育会館** 203 会議室 [千葉市中央区中央 4-13-10]
※次項に地図があります。
- 主催：千葉県環境生活部自然保護課 [千葉市中央区市場町 1 - 1]
- 共催：社団法人千葉県環境保全協議会
- 後援：社団法人千葉県経済協議会
- 対象：県内に工場・事業所がある企業 100名（参加無料）
- 申込・問合せ：事前申込制 千葉県自然保護課（担当：音谷）宛に、下記申込書の内容を記載の上、メール又はFAXで**11/24**までに申込み下さい

Tel 043(223)2957 Fax 043(225)1630 Email hogo10@mz.pref.chiba.lg.jp

◇講演：“千葉県における生物多様性の課題と企業活動”

千葉県生物多様性センター主幹 熊谷宏尚

県民や企業、教育機関など様々な主体の中核となり生物多様性情報のネットワークや研究・調査を担う基盤施設として、2008年に設立した千葉県生物多様性センター。生物多様性と企業との関わり、そして千葉県における生物多様性保全の課題とそれに企業がどのように関わっていけるのか。

◇講演：“鹿島の生物多様性への取組み” 鹿島建設株式会社環境本部 山田順之氏

鹿島建設(株)は、2005年、建設業では初めて、生物多様性のガイドライン[鹿島生物多様性指針(2009年改名・改定)]を策定し、生物多様性に配慮した都市づくりの推進や環境教育など、建設事業を通じた生物多様性の保全に率先して取り組んでいる。なぜそのような取組を行うのか。企業が生物多様性に取組むメリットは何であろうか。

.....
切り取らずこのまま FAXして下さい

FAX:043 (225) 1630

第1回 企業と生物多様性セミナー申込書 (12月1日開催)

会社名		業種	
連絡先	Tel	E-mail	
参加者の 所属・職・ 氏名			

企業活動の存続のため、行動を起こす時がきました。

全ての企業は直接的または間接的に生物多様性を利用し、企業活動を行っています。そのため、現在の生物多様性の急速な損失は、企業にとっても危機になりえます。また、生物多様性の危機的な状況を改善するためには、企業による生物多様性への配慮が不可欠です。しかしながら、生物多様性は分かりづらく、社会での認知度も低く、さらに、保全の取組は地域毎の対応が必要のため、企業にとって、関心はあっても実際の取組にまで結びつのが難しいのが現状です。そのため千葉県では、企業の皆様に、千葉県内の生物多様性に関する情報や企業による取組事例などの情報共有を行うために連続セミナー“企業と生物多様性”を開催します。

生物多様性に取り組まないことにより生じる

リスク

- ◇生物資源の減少による、原材料の不足
又は原材料調達コストの増大
- ◇生物資源の調達量の減少による、生産量又は生産性の低下、業務の中断
- ◆生物多様性への悪影響の顕在化による、ブランドや企業イメージへの被害や社会的「操業許可」の危機
- ◇公共部門や民間部門によるグリーン調達の推進による顧客の減少
- ◇環境品質の劣位による製品・サービスの市場競争力の低下
- ◆金融機関の融資条件の厳格化による、融資が受けられない可能性

操業

世評

市場

財務

生物多様性に取り組むことで得られる

チャンス

- ◆生物資源の持続可能な使用や使用量の削減策による、生物資源の減少等の影響を受けにくい生産プロセスの構築
- ◆サプライヤーの取組の促進によるサプライチェーンの強化
- ◇生物多様性への配慮を明示することによる、ブランドイメージの向上、消費者へのアピールや同業他社との差別化
- ◇生物多様性に配慮することで、地域住民等のステークホルダーの理解を得、関係を強化
- ◆生物多様性に配慮した新製品やサービス、認証製品等の市場の開拓
- ◇社会的責任感を重視する投資家へのアピール

出展：環境省生物多様性民間参画ガイドラインより

千葉県教育会館

千葉市中央区中央 4-13-10

TEL043-227-6141

<徒歩>JR 千葉駅(20分)・

JR 本千葉駅(12分)・

京成千葉中央(12分)・

モノレール葭川駅(6分)

<バス>JR 千葉駅から

中央4丁目(白旗行)下車

